

2008年11月27日

No.84

# 又市征治 国政だより

又市征治事務所

発行責任者 東 篤

富山市下新町 8-16

TEL 076-441-0800

HP: www.s-mataichi.com

## くらしの課題は緊急！ 補正を、選挙で民意を 又市副党首が麻生首相らに迫る



▲ 11月26日 参議院本会議

「金融危機」を口実に、1700万人の非正規雇用労働者に対する首切り・不払い・低賃金、中小企業には貸し渋りや下請けいじめ、高齢者には後期高齢者医療制度による負担増など、国民のがまんと不安は限界に達し、自治体は5兆円超の交付税削減で疲弊している。自公政権は参議院の賛同をえぬまま麻生内閣を発足し、「給油新法」で通算8回目の再議決の強行を図り、本来11月30日までの国会会期の延長も画策している。

又市副党首はこれに対し、26日の参院本会議で麻生首相に、また17日の決算委員会で中川（昭）財務大臣ら、25日総務委員会で鳩山（邦）総務大臣らに、対策と取り組みを迫った。

また、舛添厚労相には、**介護サービスの貧困**を突き、「2200億円抑制は限界だ。来年度見直す」と言わせた。金子国交相には、**国労1047名争議の解決**への資金担保を、谷人事院総裁には、政府・与党の**人事院つぶし・「内閣人事局」構想への反対**を表明させた。

### <以下の要旨は、上記3回の質疑応答をテーマ別にまとめました>

◆ **医療・雇用など国民生活** 又市) **補正予算をこの国会に出すべきだ。①医師不足によるたらい回しの解消 ②後期高齢者医療制度の廃止 ③社会保障費の毎年2200億円抑制の撤回 ④非正規労働者の解雇・失業保険対策をどうするのか。** →首相) 補正予算は12月20日頃まとめて1月上旬通常国会に出す。①は救急を先の一次補正でやった。②は廃止せず納得してもらおうよう1年かけ議論する。③は来年予算で検討。④は年長フリーター対策など雇用保険の機能を考える、また企業に頼む。

◆ **予想される国税6兆円減と地方財源対策** 又市) **交付税原資は2兆円減の予想だ。いつも地方の犠牲で処理してきたが、国の税収見積り過大が原因だから、国で責任を持ち、財政融資特別会計積立金からの補てんも考えよ。** →中川財務相) 地方に迷惑かけない方策を考える。鳩山総務相) 地方に「返してくれ」というのはあってはならない。財務相がそう言うのはありがたい。穴は国に埋めてもらう。力わざになるが政治的に解決したい。首相) 生活対策(2兆円の給付金などをさす)には今回特例法で財融資金を使うが、税の減収分の補てんは赤字公債でもよい。

◆ **06年度決算警告への対応と07年度決算** 又市) ①06年度決算に対する6月の参院の13件の警告等(全会派一致)の議決《案》を与党が葬ったが、政府は措置を報告せよ。②07年度は会計検査院指摘が981件1253億円で過去最高。465件が未済だ。 →首相) ①はご趣旨踏まえ各省から報告させる。②は契約点検の各省第三者機関を設けるなど厳格実施する。